別紙

ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））計画書

当該工事において、施工プロセスの各段階および作業内容において、

ＩＣＴを活用する場合は、左端 のチェック欄に「レ」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 採用する技術番号（参考） | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 |  |  | 1 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量２　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量３　TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量※採用する具体の技術は受注後の協議により決定する。※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。 |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  |  |
| □ | ③ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 切削オーバーレイ工 |  | １　３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械２　３次元位置を用いた施工管理システムを搭載した建設機械 |
| □ | 路面切削工 |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理（※費用計上対象外） |  |  | １　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理２　地上写真測量を用いた出来形管理３　施工履歴データを用いた出来形管理 |
| □ | ⑤３次元データの納品（※費用計上対象外） | ①②④により作成した３次元データを、工事完成図書として電子納品する。 |

注 1) ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））の詳細については、ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））特記仕様書及び試行要領によるものとする。

注 2) 具体的な工事内容及び対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。

注 3)施工管理システムを搭載した建設機械とは、施工中の路面切削機の作業装置位置及び切削深さ（高さ）をリアルタイムに計測・記録する機能を有する建設機械をいう。